

社団法人 日本図書館協会 図書館学教育部会

会 報 第13号

昭和56年7月1日発行 編集・発行 図書館学教育部会

部会長就任に当って

北 嶋 武 彦 (東京学芸大学)

このたび、図らずも去る5月28日に開かれた図書館学教育部会総会で部会長の御指名を受け、これから2ヶ年間その重責を担うことになりました。果してどれだけ部会員皆様の御期待に応え得るか心許ない気もしますが、幸い幹事にベテランの方々が就任して下さいましたので、それらの方々と部会員皆様の御支援・御援助の下にできる限りの努力をしたかと思っております。あらためてよろしくおねがい申し上げる次第です。

本年度の部会の事業としては、先日の総会で承認された。

- (1) 第13回図書館学教育研究集会の開催(8月28日～30日 於 富士吉田市 人材開発センター富士研修所)
- (2) 全国図書館大会第9分科会(図書館学教育)の企画・運営(10月30日 於 浦和市)
- (3) 会報発行(年2回)
- (4) 図書館学教育全国計画の推進
- (5) その他

などがあげられますが、(1)～(4)はいずれも例年通りの事業で、今後、いっそう充実していきたいと思っています。特に、(4)の図書館学教育全国計画については昨年5月、黒木委員長ほか委員各位のお骨折りで「図書館職員の需要に関する調査研究」と題する中間報告を発表して戴き、好評でしたが、今年度以降もこの全国計画の研究を推進したいと思ってい

ます。

なお、(5)その他に関連して本年度からあらたに取り組みなければならない事業として「専門職制度の研究」があげられます。これは去る4月に開かれた図書館政策委員会(委員長 奥野定通前都立中央図書館長)から同委員会が目下関係している「図書館事業振興法」(仮称)に関連して専門職の在り方について当部会にその検討方を依頼されました。幹事会で検討した結果、当部会として積極的にとり組むべき課題であるとの結論に達したわけです。たゞ、専門職制度の問題は内容が複雑多岐でありますし、そう簡単に結論が出せるものとも思われません。また、この問題は前述の全国計画委員会の作業と密接不可分の関係もありますので、同委員会との関係をどうするのかなど、慎重に検討しながら対処していきたいと思っています。

このように、今年度の事業はそのどれ1つをとってみても、当部会のようなさほど規模の大きくない組織にとっては大きな課題といえましょう。したがって、これらの課題を1つずつ着実に成し遂げていくためには、何といても部会員全体のチームワークと御協力がなければ到底おぼつかないと思います。この意味からも改めて部会員皆様の御支援を切におねがいして御挨拶に代えたいと思います。

昭和56年度 図書館学教育部会 総会議事録

日 時 昭和56年5月28日
10-12 a.m.

場 所 日本図書館協会 会議室

出席者 9名 委任状 21名

浜田敏郎(前)部会長の挨拶のあと、石塚栄二氏(帝塚山大)を議長に、中村泰正(山形女子短大)、石塚栄二両氏を議事録署名人にそれぞれ選出し、議事に入った。

1. 昭和55年度事業報告

浜田部会長より、総会資料にもとづいて55年度の主要な活動の報告がなされた。

- (1) 図書館学教育全国計画委員会中間報告
「図書館職員の需要に関する調査研究」の刊行について
- (2) 鹿児島大会に際しての、九州地区図書館職員需給調査と、その結果の発表について
- (3) 図書館学教育のカリキュラムを主要テ

ーマとして行なわれた第12回研究集会について

- (4) その他の諸会議とその主要案件について

2. 昭和55年度決算報告

古賀節子幹事(青山学院大)より、以下の決算報告がなされた。

3. 昭和55年度監査報告

深川恒喜、石塚正成両氏により適正であった旨の監査を受けた、との報告があった。以上の事業報告、決算報告および監査報告について、一括して承認をした。

4. 第12期役員選挙結果報告および承認

平野英俊選挙管理委員長(日本大学)より、選挙結果の報告があり、これを承認した。

新役員

部会長 北嶋 武彦氏(東京学芸大)

	項 目	予 算	決 算	備 考
収 入	会 費	218,500	212,000	{ 51年度 1,000 56年度 13,000 52年度 5,000 57 " 5,000 53 " 10,000 54 " 56,000 55 " 122,000 利息 1,361 会報 700×11=7,700 研究集会残金 151,970
	交 付 金	80,000	100,000	
	雑 収 入	1,000	161,031	
	繰 越 金	48,550	48,550	
	計	348,050	521,581	
支 出	消 耗 品 費	2,000	70	部会役員選挙費用を含む 15回(部会役員選挙費用を含む) " " 会報11号, 12号 印刷費, 会合費, 交通費 (見舞金)
	会 合 費	30,000	46,750	
	交 通 費	80,000	98,000	
	通 信 費	50,000	65,000	
	会 報 等 印 刷 費	80,000	162,970	
	研 究 集 会 費	30,000	14,300	
	全 国 計 画 委 員 会 費	50,000	95,480	
	予 備 費	26,050	5,000	
	計	348,050	487,570	
差引残額		0	34,011	56年度へ繰越

幹事 浜田 敏郎氏（慶応大）
 古賀 節子氏（青山学院大）
 今 まど子氏（中央大）
 黒木 努氏（図書館情報大）
 渡辺 信一氏（同志社大）

会計監査

深川 恒喜氏（尚美音楽短大）
 高橋 重臣氏（天理大）

ここで、浜田(前)部会長、北嶋新部会長より、それぞれ挨拶がなされた。

5. 昭和56年度事業計画案

北嶋部会長より、以下の事業計画が提案された。

(1) 第13回図書館学教育研究集会の開催

日時 8月28日(金)～30日(日)

場所 人材開発センター 富士研修所

テーマ 「図書館学教育におけるカリキュラムの構築をめぐる(Ⅱ)」

(2) 全国図書館大会（浦和市）図書館学教育分科会の開催

日時 10月30日(金)

テーマ 「関東地区における図書館学教育の現状と課題」

(3) 会報の発行（年2回）

(4) 図書館学教育に関する全国計画の推進（継続）

(5) 専門職問題の検討。特に、図書館政策委員会および図書館員連盟との関連において。

以上の提案を承認。なお、出席者より、「現在、図書館員連盟や文部省で司書のあり方について検討する動きがあるので、この波に乗るようになってほしい」、「全国計画委の性格、プログラム等について幹事会で再検討してほしい」、「地域毎の教育者の集まりを組織してはどうか」、また、「選挙の回収状況が悪いので成立条件を下げて

はどうか」などの意見が出され、それぞれ幹事会で検討することになった。

6. 昭和56年度予算案および部会費値上げ
 古賀幹事より、部会費の値上げを前提にして、以下の予算案が提起された。

教育部会昭和56年度予算案

収入

会費	324,200	(注1)
交付金	100,000	(注2)
雑収入	1,000	(注3)
繰越金	34,011	
計	459,211	

支出

消耗品費	1,000
会合費	60,000
交通費	120,000
通信費	50,000
会報等印刷費	80,000 (注4)
研究集会費	20,000
全国計画委員会費	100,000
予備費	28,211
計	459,211

(注1) 56年度分 2,000円×169人×0.9＝

304,200円

55年度以前の分 20,000円

(注2) JLA事務局より

(注3) 利子

(注4) 会報2回

部会費の値上げ（現行1,000円を2,000円に）については、昨年並みの活動をするためには是非とも必要であるとの説明がなされた。以上を審議の結果、部会費値上げと予算案を一括して承認した。

の問題や1986年のIFLA招致の準備体制作りなどを控え、同氏の活躍が期待される。

裏田武夫氏東京大学附属図書館長に就任

東京大学教育学部教授裏田武夫氏は4月1日付で同大学附属図書館長に就任された。図書館学専攻で初の国立大学附属図書館長となった同氏の今後の活躍が期待される。

今 まどり氏中央大学へ

独協大学教授今 まどり氏は本年4月から司書課程が新設された中央大学へ転任された。壮大なキャンパスと附属図書館をもつ同大学での新しい図書館学教育に期待がかけられている。

常盤 繁氏独協大学へ

今 まどり氏の中央大学転出にともない、東京大学教育学部助手常盤 繁氏が独協大学講師として図書館学教育に当られることになった。

原田 勝氏京都大学へ

元東京大学教育学部助手で、その後ユネスコに勤務されていた原田 勝氏がこの程京都大学教育学部助教授に就任された。

森崎震二氏専修大学へ

森崎震二氏(国立国会図書館)は本年4月、専修大学助教授として赴任された。芦谷 清氏とのコンビで活躍が期待される。

東京学芸大学に「教育情報・図書館学」関係教官増員

東京学芸大学では昭和54年度に従来省令学科目として定められていた「学校図書館学」と「教育情報科学」を統合再編成して「教育情報・図書館学」(大学院学科目 実験講座)として発足していたが、本年3月、新任教官2名(いずれも情報科学専攻の教官)が採用

された。将来は文字通り両学科目が一体となり、従来の図書館学のほか、情報検索システム、CAIなどをふくむ教員養成大学にふさわしい新しいカリキュラム開発が期待されている。

図書館短期大学閉学式挙行

昭和54年度の図書館情報大学開学にともない、本年3月20日、図書館短期大学が閉学式をおこない、昭和39年以来17年の歴史の幕をとじることになった。

幹事会記録

- 4月3日(北嶋, 浜田, 古賀, 黒木, 渡辺, 今)
- a) 全国大会の件
 - b) 研究集会の件
 - c) 総会の件
- 4月20日(北嶋, 古賀, 今)
- a) 総会の件
 - b) 研究集会の件
 - c) 全国大会の件
 - d) 図書館政策委員会への委員派遣の件(古賀氏, 高山氏)
- 5月11日(北嶋, 古賀, 今)
- a) 図書館政策委員会から専門職制度について申入れの件
 - b) 研究集会の件
- 6月8日(北嶋, 浜田, 古賀, 渡辺, 今)
- a) 研究集会の件
 - b) 会報 no 13 編集
 - c) 全国計画について
 - d) 図書館年鑑への本部会より編集委員派遣の件(渋谷嘉彦氏)

部会費 2,000 円に改訂納入にご協力下さい

図書館学教育部会では部会費制度を採用以来、長年にわたり一貫して年額 1,000 円としてきましたが、近年の郵便料の値上げ、会報の増頁による充実などのため、止むを得ず本年度の部会総会で昭和56年度から年額 2,000 円に改訂することが承認されました。すでに

昭和56年度以降の部会費を納入下さった方にも適用されることになりましたので誠に恐縮ですが御協力の程おねがい致します。なお、昭和56年度分未納の方も早目に納入下さるようよろしくおねがい致します。(同封の振替用紙を御利用下さい)

編 集 後 記

部会報第13号をお届けします。本号は去る5月の部会定期総会であらたに成立した新幹事会の編集に成るものであり、定期総会関係の記事を中心として編集しました。新幹事会の任務分担によりますと、会報の編集は黒木幹事におねがいすることになっていますが、同氏が御病気のため、本号は従来通り幹事会全員で編集しました。次号からは黒木幹事の一日も早い御回復を祈り、同氏によりあたらしい粧いで発行されることを祈念しています。

(北嶋 記)